

Fukuro 第4号

1. けやき学級 作業学習の授業の様子

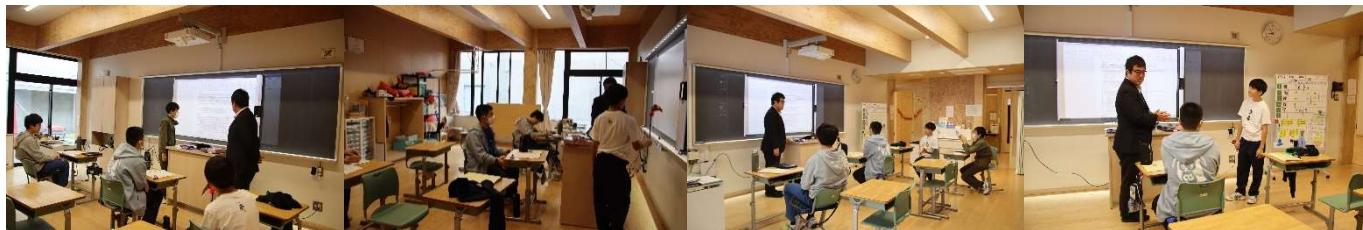


作業学習では、かご作りやビーズストラップ、布製品の製作を進めています。将来の社会自立や職業生活に必要な「働く力」を総合的に育むことを大切にして授業を行っています。

- ①働く上での基本的なマナーの習得(挨拶、返事、時間厳守、身だしなみなど)
- ②コミュニケーション能力(指示を正確に理解する力、報告・連絡・相談をする力、仲間と協力する力などを育む)
- ③自己評価と振り返り(作業の結果だけでなく、自身の「働きぶり」や工夫した点などを振り返り、作業日誌に記入する)

今年度の授業を通して、生徒は作業の流れ(準備→作業→振り返り)を理解し、報告・連絡・相談ができるようになりました。また、作業を集中して、丁寧に行えるようになりました。今後の生活の場面でも、授業の成果を十分に発揮し、活躍してくれることでしょう。また、けやき祭・合唱コンクールでこれらの商品を販売する予定です。昨年度よりパワーアップしたラインナップとなっておりますので是非お立ち寄りください。

2. こぶし学級1組 自立活動の授業の様子



こぶし1組では、「上手に断る方法」の授業を行いました。

アサーティブ・トレーニングとして、相手を傷つけず、かつ自分自身の気持ちも大切にしながら、上手に「NO」と言うスキルを身につけることを目的として行いました。

導入では、日常で自分自身が「できない」と思うことがあったとき、どのように断っているか聞くと、断りたいのになかなか断れない経験をした生徒が多いことがわかりました。

次に教員が4つの断り方の場面を演じ、どの断り方が良かったか、どのようなポイントをおさえると良いか発表してもらいました。学習を進めていく中で、「距離をとる」「相手を見る」「聞こえる声で」「拒否する言葉を言う」の4つのポイントが、断るときに大切だということを学習しました。

最後に場面を選び、断る練習をロールプレイで行いました。生徒はポイントを意識し、断るセリフをそれぞれ発表し、役を演じました。授業を振り返ると「断ることは難しかった」「どう断れば良いかわからない場面もある」と話してくれました。

相手の気持ちを思いやり、自分のことも大切にしたやりとりを、今後も大切にしていきたいと思います。

3. こぶし学級2組 自立活動の授業の様子



こぶし2組では、「リフレーミング」の授業を行いました。リフレーミングとは、物事や出来事を別の視点（フレーム）から捉え直すことで、捉え方を変える思考技術です。これにより、ネガティブに捉えていた物事をポジティブに変換したり、新たな解決策を見つけたりすることができます。

まず、「コップに水が半分入っている」絵を見てもらい、「どう思う？」と生徒に聞きました。生徒は、「コップに水が半分も入ってる」「水が半分しかない」など様々な意見があがり、人によって捉え方が違うことに気付きました。

次に、皆でリフレーミングの具体例について考えました。

「マイナス」と思われるがちな言葉をホワイトボードに書き、次にその言葉を「プラス」に言い換えるとどのような言葉になるかを皆で考えました。自分では短所だと思っていた言葉が、仲間の言葉によって実は長所になることに気付くことができました。授業を振り返ると、生徒からは「見方を変えるだけで、気持ちが楽になった。」「自分の意外な長所に気づけた。」と話してくれました。今後の生活で、困った時や落ち込んだ時にリフレーミングを学級の皆で試してみようと思います。